

東京都ICT戦略（仮称）の策定

◇ 背景や目的

平成29年5月に、概ね5年後のICTを活用した東京の姿について議論した「ICT先進都市・東京のあり方懇談会」より提言を受領



提言を踏まえ、今後の都の政策実現におけるICT利活用を「東京都ICT戦略（仮称）」として策定・公表する予定

（都民目線の戦略とするため、策定に先立ち、「基本的な考え方と主要施策の方向性」を公表して、広く意見を募集）

「基本的な考え方と主要施策の方向性」の構成

○ 戦略策定の背景

ICTは日進月歩で発展、都政課題の複雑化・高度化、人口減少社会・労働力人口減少

○ 戦略の基本的考え方〔4本柱〕

- 1 都市機能を高めるに当たって、ICTを活用する
- 2 データを活用する
- 3 ICTを活用し、官民連携で行政課題を解決する仕組みを構築する
- 4 民間におけるICT活用を後押しし、生産性向上・新価値創造を図り、東京・日本の成長につなげる

※ 留意点：サイバーセキュリティ、データガバナンス

○ 3つのシティ（「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」）各々についての「ICTを活用した5年後の姿」と「主要施策の方向性」

◇ スケジュール

平成29年9月13日（水）

「東京都ICT戦略（仮称）～基本的考え方と主要施策の方向性～」公表



パブリックコメント（1か月間）



平成29年度冬頃 「東京都ICT戦略（仮称）」公表予定

都庁舎サービスロボット実証実験の実施

◇ 目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とその後のレガシーを見据え

- 今後活用が期待される先端技術の社会での実用化
- 2020年のICTショーケース化の実現

に向け、都のフィールドを活用し、実証実験を実施

◇ 概要

多言語対応のサービスロボットについて、都庁舎案内や東京の観光案内などの実証実験を通じ、技術の向上や活用の可能性、社会実装へ向けた課題等を検証

◇ 実験を行うサービスロボット

サービスロボットは公募、審査を経て選定（5機）

◇ スケジュール

11月9日（木） プレスイベントを実施（東京都庁第一本庁舎2階）

11月13日（月） 実証実験実施（東京都庁第一本庁舎2階及び展望室）

～2月末

3月 実験結果を検証し、他のフィールド等への展開を検討